

## 地域医療介護総合確保基金を活用した回復期病棟への転換について（三四区域）

本県においては、地域医療介護総合確保基金を活用した回復期病棟への転換事業について、地域医療構想との整合性が確保されているかどうか、地域医療構想調整会議において事前に確認することとしています。

平成31年度三四区域における、地域医療介護総合確保基金を活用した回復期病床への転換事業については、今年度事業募集を行ったところ以下のとおり活用希望があったため、地域医療構想との整合性について協議します。

### 1 事業を行う医療機関

- ① 医療機関名：医療法人富田浜病院
- ② 医療機能別病床数：急性期 60 床  
回復期 85 床
- ③ 算定入院料名等：一般病棟 10 対 1 入院基本料 60 床  
療養病棟入院基本料 1 43 床（内 30 床：地域包括ケア入院医療管理料 1）  
回復期リハビリテーション病棟入院料 2 42 床  
（出典：平成 29 年度病床機能報告）

### 2 転換整備の概要

- ① 医療機能別病床数：急性期 60 床 → 47 床  
回復期 85 床 → 98 床

転換前	転換後
2 階病棟 60 床（急性期） 一般病棟 10 対 1 入院基本料	2 階病棟 47 床（急性期） 急性期一般入院基本料
3 階病棟 43 床（回復期） 療養病棟入院基本料 （内 30 床：地域包括ケア管理料）	3 階病棟 43 床（回復期） 地域包括ケア病棟入院料 又は 療養病棟入院基本料 （内 30 床：地域包括ケア管理料）
4 階病棟 42 床（回復期） 回復期リハビリテーション病棟入院料	4 階病棟 55 床（回復期） 回復期リハビリテーション病棟入院料

- ② 算定予定入院料算定予定時期：  
平成 32 年 2 月頃（回復期 13 床）
- ③ 工事予定期間：平成 30 年 12 月頃から平成 32 年 1 月頃まで

### 3 地域医療構想との整合性について

当該医療機関は、急性期機能から回復期機能への転換を予定しています。本県としては、地域医療介護総合確保基金を活用し急性期機能から回復期機能への転換を促進することとしていますが、三泗区域において、過剰である急性期から、不足する回復期への転換であることから、三泗区域地域医療構想との整合性が確保できると考えます。

#### (参考) 回復期病床等転換事業の概要

- 対象施設
    - ・各構想区域において、回復期リハビリテーション病棟又は地域包括ケア病棟に転換するための施設整備を行う病院
  - 施設整備
    - ・新築、増改築、改修
- 基準単価 (3,508 千円) × 転換した病床数 × 補助率

1 基準額	2 対象経費	3 補助率	4 補助対象
新築・改築・改修 転換病床数1 床あたり 3,508 千円 (150 床上限)	回復期リハビリテーション病棟又は地域包括ケア病棟を整備するために必要な工事費又は工事請負費	2分の1	医療法(昭和23年法律205号)第7条の規定に基づき許可を受けた病院